

「セカンドスクール」の紹介

宮城県志津川自然の家

「セカンドスクール」は、学校と社会教育施設が連携して、学校外での学習の場を提供します。また、施設での自然体験、地域の産業・文化の体験等を通して、豊かな心の育成と生きる力を育むことができます。教育課程の中に位置付けてみてはいかがでしょうか。

※「志津川自然の家ホームページ」<http://www.pref.miyagi.jp/sz-seinen/>
宮城県教育広報「PLANET 9号」(20.5.21 発行)

《セカンドスクールの特徴》

- ・宿泊学習を通して、自立する力や友達と関わる力を伸ばすことができます。(自主性・協調性など)
- ・「早ね 早起き 朝ごはん」の生活習慣により、学習への集中力・学力の向上策の一つとして期待されます。
- ・学校と自然の家の職員が役割分担をし、無理のない支援体制ができます。(宿泊教員は3名程度でも可)
- ・自然の家周辺の環境を活用した授業の構成ができます。活動を各教科にカウントすることができます。

平成21年度「南三陸町立入谷小学校第5学年」の実践例

1 ねらい

- (1) 社会教育施設で集団宿泊を体験させながら日常の教育活動を行うことで、児童の自主性・協調性の伸長を図る。
- (2) 地域の人材や環境を活用した学習環境を通して、地域の良さに気付かせ、地域を愛する心を育てる。

2 児童のめあて

- (1) 日常の学習を集団宿泊体験の中で実施し、2泊3日のきまりを守る心(規則尊重の心)や自分から考えて行動する心(自主性)、友達との「和」を大切にする心(協調性)を伸ばす。
- (2) 地域の方から南三陸町のことを学び、自分の住む町を愛する心(郷土愛の心)を持った入谷っ子になる。

3 実施日・人数 平成21年11月18日(水)～20日(金) 児童20名 引率教員 4名

4 主な費用 食費(朝2回, 昼3回, 夜2回) 3,230円 シーツクリーニング 130円 寝具代 200円(2泊)
その他活動に必要な経費(活動内容により異なる)

5 時数のカウント 3日間合計17時間(国4, 社1, 理2, 音1, 家2, 体1, 総4, 学活2)

6 実施上の留意点

- (1) 計画段階(前年度)からの保護者への説明(めあて, 期待される効果, 実施時期, 費用など)
- (2) 自然の家職員との綿密な打ち合わせの実施(実施内容, 自然の家職員の関わり方, 役割分担など)
- (3) 実施時期については, 10月頃が充実した活動ができる。

7 実施計画 裏面

8 活動の様子



MAP 活動(学活)



国語の授業



音楽の授業



食事の様子



自由時間



宿題の様子



昔話を聞く(国)

学習計画

	11月18日(水)	11月19日(木)	11月20日(金)
業前	8:15 学校集合 8:30 学校出発	7:00 起床・洗面 7:40 朝食 8:15 朝の会	7:00 起床・洗面 7:40 朝食 8:15 朝の会
8:50	学級活動	理科	国語
1 9:15	入所式・開講式 オリエンテーション	生命のたんじょう(人) 人の生命の始まり	題材や表現に注意して ～「地域の昔話」をまとめる～
9:20	総合学習	家庭2・総合学習1(学年 PTA 行事)	音楽
2 10:05	「環境学習」 志津川環境活用センター	「作っておいしく食べよう」 本格餃子に挑戦(保護者を講師に)	ヨーロッパの音楽に親しもう ～イタリアの音楽と言語～
3 10:20	「志津川の海を守る」 ～「マーレ」と	「古代米で作ろう」 収穫した古代米を	体育
4 11:05	「水と光の関係」～ ※マーレ(MARE)・・・海を学ぶ 体験型科学教育カリキュラム	使った太巻き作り 米粉を使った ピザ作り (JA 南三陸職員による指導)	体ほぐしの運動 ～「ニュースポーツに挑戦」～
11:15			理科
12:00			生命のたんじょう(人) 母体内での子どもの成長
12:00	昼食・休憩		
13:00	清掃	13:20～40 休憩	※3日目部屋点検 13:00～
13:40	学級活動	国語	国語
5 14:25	もっと仲良くなろう MAP を取り入れた活動	題材や表現に注意して 「地域の昔話」の語りを聞く	作文 ～3日間の生活を振り返って～
14:35	国語	社会	15:00 自然の家出発 15:30 学校着
6 15:20	題材や表現に注意して ～学習活動の見通し～	工業生産と貿易 ～豊かさを交かんする～	
15:30	帰りの会 自由時間		※ 活動計画については、自然の家にご相談ください。
17:30	夕食 自由時間(宿題、テレビなど)		
19:30	入浴		
21:00	消灯		

《児童感想》

めあてに向かった3日間

私は「この3日間を考えて行動してみんなとも仲良くする」というめあてを立てました。1日目は去年はなかったフリータイムを使うのが意外とむずかしく、みんなと遊んだりカーテンを閉めたりしましたが、寝る時間などの調節がむずかしかったです。

2日目は、3日間の中でも大きな行事、親子 PTA 行事があり、あせってしまった1日となりましたが、おいしい米っこピザ、餃子をみんなで楽しく作り活動することができました。お風呂の時間や寝る時間も1日目より順調にきました。

3日目は、1日ゆっくりとした時間を過ごすことができました。そして朝は友達に起こしてもらい、友達の良さに気づきました。

この3日間、私はセカンドスクールから環境についても学んだし、友達の良さにも気づき、自分から考えて行動することも学び、いろいろなことを学びました。そして、セカンドスクールに協力してくれた皆さんにとっても感謝しています。

《セカンドスクールを終えて》

5 学年担任

- ・学習を含め放課までが学校生活の延長であることを理解させたので、「生活のきまり」を意識し考えて行動できた。
- ・緊張から解かれる時間をフリータイムとして最低限の約束以外は児童それぞれの計画に沿って進めるように指導した。一人ひとりの過ごし方の違いが見られたが、周囲を意識してより良い過ごし方をしようとする様子が見られたことは、今後の学校生活の改善への良い機会となった。
- ・帰校後の学校生活で「進んで・・・」「自分から・・・」という姿が見られる児童や、作文から「友達のことが分かった」「前より仲良くなった気がする」という感想が見られ、「互いに気持ち良く生活しようとする」態度につながっている。